

令和 5 年 1 0 月 1 0 日

人吉市議会議長 宮原 将志 様

総務文教委員会委員長 松村 太

「市民と議会の意見交換会」実施報告書

このことについて、「市民と議会の意見交換会」を実施しましたので、人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱第 8 条第 1 項の規定により提出します。

開催日時	令和 5 年 8 月 7 日（月） 1 0 時 0 0 分～ 1 2 時 0 0 分
会 場	カルチャーパレス第 2 会議室
出席議員	【委員長】松村 太 【副委員長】池田 芳隆 【委 員】平田 清吉、豊永 貞夫、宮原 将志 川上紗智子（記録者）
団体名	カルチャーパレスを支える会
参加人数	1 1 名
テーマ	カルチャーパレス大ホールの今後について
意見交換会 の概要	意見交換会に先立って、参加者全員で、担当課の説明を受けながら、大ホール等を見て回った。 意見交換会は、カルチャーパレスを支える会共同代表の鶴上寛治様より、「私は、このカルチャーパレスができる時から関わり、観る側も舞台に立つ側も経験してきた。今日は、両方のみなさんが来ている。ぜひ、直に話を聞いていただきたい。」との挨拶で始まった。続いて、松村太総務文教委員長から、自身の子供時代の花火大会の思い出等に触れ「幼少期の体験は、その後の経験を積み重ねていく上で重要なベースになるのではないか。生の音楽、演劇を体感することは他にはかえがたいものがあるのではないかと思う。人吉の伝統や文化が継続されていくように、様々なご意見を頂戴して、委員会としても議論を重ねていきたい。」と挨拶。

	「カルチャーパレスを支える会」事務局から、「会」発足の経緯、その後の署名や陳情・要望活動などの説明があり、小ホールの利用が可能になり、様々な催しを取り組み、感動・笑い・癒し・活力・希望を与えてくれる文化芸術がいかに大切か、改めて思い知ったことや今の人吉市民にとって文化芸術による心の復興の大切さ、文化の殿堂の必要性を述べられた。 市民劇場事務局から「これまで九州内の演劇鑑賞団体18団体において同じ作品で年間を通したスケジュールを組み、連携してやってきた。しかし、大ホールを使えなくなり、同じ作品を上演できず、この連携から外れざるをえなくなった。そんな中、市民劇場独自に個々の劇団と交渉し、小ホールでもできる作品を上演してもらうなど、劇団の協力で例会を実施し出来るようになった。東京に行かなくても、地方で観ることのできるようになることを望んでいる。」 犬童球溪顕彰音楽祭協議会関係者から「コロナ関係でできなかった室内での音楽祭が今年再開することになったが、会場がスポーツパレスのため、果たしてどれくらい声が響くのか、2階の聴衆にどれだけ伝わるのか心配である。子供のうちから、大きなホール、音響のいいホールで、演奏したり、演奏を聴いたりできる環境を一日も早く作ってほしい。立地を生かして行われていた九州大会などや復興関係の催しも会場がないということで人吉ではできなかった。残念である。」 労音事務局からは「人吉労音は、10年ごとの節目に、大ホールを使った催しをしている。50年の時にはチェコ少年少女合唱団などを招いた。来年60年を迎えるが、めどが立っていない。私たちにとって、会場があるかどうかはまず問題である。建て替えと言うが、いつになるかわからない。大ホールも小ホールも必要だという認識を持ってほしい。」と話された。 他の参加者からも ○ 転居して30年余になるが、人吉は、国宝、重要文化財、清流、温泉、独自の文化をもつ町。人吉が、文化豊かな町だということをアピールしていくべきではと思う。ホールはもとより、美術館などの文化施設を充実してほしい。日本国内どこに住んでいても文化的な教育が受けられる、文化的な生活が送れるようにすべきだと思う。 ○ 人吉に転居して、自然・歴史・文化豊かな街に魅力を感じ、住み続けて40年余になる。幾重にも精神的ダメージを受けている市民に癒しの場をつくってほしい。改修して一日も早く使えるようにしてほしい。 ○ 高齢のため、市外に見に行くことは困難になってきた。映画「夏空
--	--

	ダンス」も大ホールが使えればもっとたくさんの人が鑑賞できたのではないかと思う。子供からお年寄りまで、文化を享受できるようにしてほしい。復興を考えると、精神的復興も併せて考えてほしい。文化協会は、減った一時期に比べて、少し増えて今21団体で構成している。 ○ 芸術は、子供たちの人間形成にとって大事。きちんとした環境で、演奏したり、聴いたりできるようにしてほしい。 ○ 10年前にUターンしてきた。人間にとって文化芸術は大事。いいところに戻ってきたと思っていたので、まさか、カルチャーパレスが使えないことになるなんて想像もしていなかった。さらに2027年には電気機械の関係で小ホールも使えなくなると聞いたがそうなのか。 との意見があった。 また、議員から市民劇場、労音の会員数を尋ねたところ、市民劇場は、800名の会員を目指していてコロナ前には780名までになっていたが、水害後、例会が行えない中、300名台まで落ち込んだ。小ホールでの例会再開後430名になっている。労音はコロナ前410名、現在352名ということであった。 延べ13人(議員以外)の参加者に発言していただいた。 最後に、松村委員長が「いただいたご意見を総務文教委員のみならず議員全員で共有して、人吉のまちづくりにみなさんの声を反映させていきたい」と述べた。
--	--